

第42回北信越中学校総合競技大会／富山大会 サッカー競技感染症予防対策(ガイドライン)

実施要項に関わること(会場・競技日程・競技方法・競技規則・参加規程・開会式等)

開会式 : 開会式は行わない。(開始式として選手入場直前に放送にて開会宣言を実施する)

実施要項に関わらないこと(会場内・練習場所・待機場所・観客等)

会場内 : 会場出入り口付近・会場内に手指消毒液を設置する。

前日練習場所 : 会場出入り口付近・会場内に手指消毒液を設置する。

トイレ : 会場内には①南総合公園内にあるトイレ(東西の間にある)、②体育文化センター内、③体育文化センター正面玄関前の3カ所があるが、使用前後に手指消毒をする。

待機場所 : 他チームとのテントとの距離をとる。(運営側で設置)

入場制限 : 原則、無観客試合とする。しかし入場制限として、以下のとおりとする。(※状況によって変更する場合がある)

- ・北信越大会申込み書に記載してある登録メンバー及び監督・コーチ・マネージャーの計21名まで入場可
- ・荷物運び等のサポート生徒(ベンチ・アップ場には入場不可) : 出場校生徒より5名まで入場可(学年は問わない)
- ・登録メンバー外の生徒 : 3年生のみ入場可
- ・各チーム保護者 : 2名(写真・VTR等撮影として)まで入場可・ADカードを配布
- ・学校関係者 : 2名まで入場可・ADカードを配布

その他の感染予防策

【以下の役員を設置する】

- ・感染対策責任者(MCが兼ねる)を設置する。
- ・感染対策責任者(チーム側) : 監督を当該チームの感染対策責任者とする。

【「体調記録表」及び「学校同行者体調記録表」】

- ・会場への入場者(大会参加)は、北信越大会 COVID-19 感染拡大予防ガイドラインに従って「体調記録表」、「行動履歴書」を記入する。
- ・「学校同行者体調記録表」 : 監督は、会場への入場者の「体調記録表」を確認し、「学校同行者体調記録表」(前日練習・大会1日目・大会2日目・大会3日目)をそれぞれの当日、会場受付に提出する。
- ・当日、学校関係者・保護者2名の観戦がある場合は、試合当日朝、各校監督が「来場者体調記録表」を回収し、会場受付に提出する。

【当日の対応・試合開始直前から試合終了まで】

Kickoff まで : ※写真撮影等を行う場合は下記の事前に行う。

- ①選手への指示等は全て終了した上で、メンバーチェックを行う。(先発メンバーのみ) ←原則として、一旦、ベンチに戻ることはしない。
- ②チェック終了後、その場で主審・両キャプテンによりコイントスを行う。
- ③トスの後、ピッチに入り、挨拶は本部に向かって横一列に並び(横との距離も広め)、主審の笛で一礼のみ行う。←その他の握手等のセレモニー・審判団や相手チームへの挨拶はしない。
円陣を組んでもよいが、互いに距離をとり、互いに飛沫がかからないよう配慮する。

試合中

- ①得点時等のタッチや抱擁はしない。
- ②倒れた選手に手を貸すことはしない。
※フェアプレーの観点から声を掛けることは可。命に関わる場合、緊急をする場合はこの限りではない。
- ③ボトルやタオルを共有しない。
- ④口に含んだ水をピッチに吐かない。ピッチ内でも咳エチケットを守る。
- ⑤ベンチではマスクを着用し、会話を控える。
※コーチ1名がテクニカルエリアに出て指示する場合は、マスクを外すことを可とする。
※控え選手のアップ時はマスク着用を求めない。
※交代して戻った選手がすぐにマスク着用が難しい場合は、2m程度のソーシャルディスタンスを取るよう
に配慮する。
- ⑥飲水タイムは1分以上かけてはいけないことが原則ではあるが、ボトルの共用ができないので、確実に全選手が飲水する時間を確保し、アディショナルタイムに加算する。
- ⑦運営側感染対策責任者(MC)は、ゲーム全体に目を配りつつ、ベンチ内でのマスク対応、ドリンクやタオル等の対応に問題がないかなどを注意する。

試合終了時

- ①終了のホイッスルが鳴った段階で、試合開始時と同様、本部に向かって横一列に並び、主審の笛で一礼のみ行う。←その後のセレモニー・審判団や相手チームベンチへの挨拶は行わず、速やかにチームベンチへ戻る。
- ②会場主任は、両チームベンチの消毒を行う。

【その他】

- ・ベンチ内、控え場所、更衣場所等、可能な限り「三密」となる状況を避けるよう配慮する。
- ・万一、大会期間中・大会後2週間以内にチームから「感染者」「濃厚接触者」が出た場合、チーム感染対策責任者は速やかに県の中体連理事長にその旨を連絡する。